

**Express5800 シリーズ**  
**N8103-73A ディスクアレイコントローラ (IDE)**  
**及び**  
**120Ga 標準搭載ディスクアレイコントローラ(N8103-73A 相当品)**  
**ご使用時の注意**



添付のユーザズガイドとあわせてお読みください

本ディスクアレイコントローラをご使用になる前に以下の内容をご確認ください。

## 1. インストール作業時の注意事項

N8103 - 73A ディスクアレイコントローラ(IDE)が接続された本体装置にインストール作業を実施する場合、**必ずロジカルドライブ(パック)の Write Policy(Write Cache)設定を「Write Through」に 設定してインストールを実施して下さい。**

「Write Back」にて装置運用される場合も、インストール作業は「Write Through」設定にて行い、インストール作業終了後に Write Policy(Write Cache)設定を「Write Back」に変更して装置を運用願います。

### **注意**

**「Write Back」にてインストール作業を実施すると、正常にインストールされません。**  
万が一誤って「Write Back」設定にてインストール作業を実行してしまった場合は、「1 - 3. 復旧方法」を参照し、最初からインストール作業をやり直してください。

### 1 - 1. 「Write Through」の設定方法

ロジカルドライブの Write Policy(Write Cache)を「Write Through」に設定する方法です。

- (1) 「N8103-73A ディスクアレイコントローラ(IDE)ユーザズガイド」の「4章 Configuration Utility」に従い、ロジカルドライブ(パック)を作成します。この時、「Advanced Menu」の「Write Policy」設定は変更しないでください。(Default 値: 「Write Through」)
- (2) ロジカルドライブの作成が完了したら、Management Menu「Objects」「Logical Drive」の「View/UpdateParameters」を選択し「Write Policy」の設定が「WRTHRU」(Write Through)に設定されていることを確認してください。「WRBACK」(Write Back)に設定されている場合は「WRTHRU」に設定を修正してください。

## 1 - 2 . 『Write Back』にて本体装置を運用する場合

インストール作業終了後、Cache Policy(Write Cache)を『Write Through』から『Write Back』に変更する手順です。そのまま『Write Through』設定にて本体装置を運用される場合は、設定変更の必要はありません。

### 注意

N8103 - 73A ディスクアレイコントローラ(IDE)はバッテリーを内蔵していないため、電源瞬断などの不慮の事故が発生した際にキャッシュの内容がハードディスクに反映されない場合があり、データを損失する危険性があります。『Write Through』での運用を推奨します。

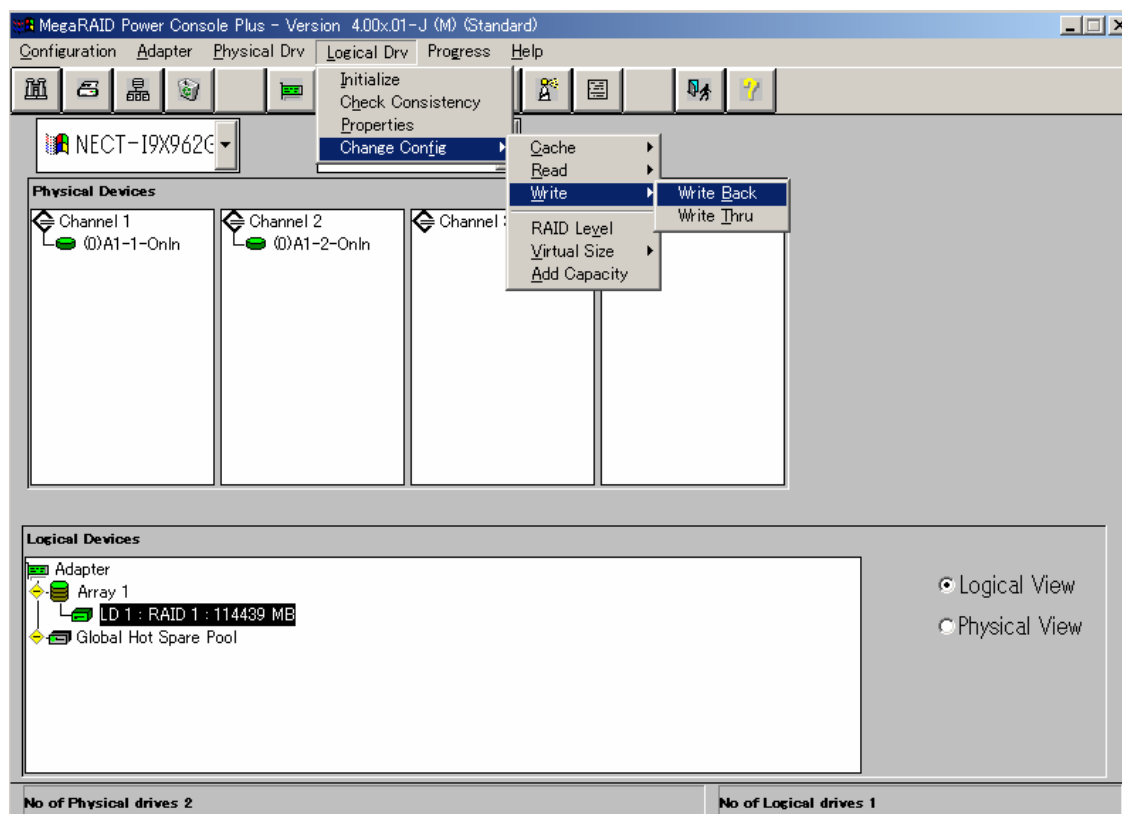
### 1-2-1. 『MegaRAID Configuration Utility』を使用

- (1) 本体装置を起動し『MegaRAID Configuration Utility』を起動します。
- (2) Management Menu の『Objects』で『Logical Drive』『View/Update Parameters』を選択します。
- (3) 『Write Policy』『WRTHRU』にカーソルを合わせ <Enter> を押します。
- (4) 『WRBACK』を選択し <Enter> を押下後、<YES> を選択します。
- (5) 『Write Policy』が『WRBACK』に変更されていれば作業終了です。

### 1-2-2. 『Power Console Plus』を使用

[補足]:本手順は、Power Console Plus がインストールされた本体装置にのみ有効です。

- (1) 本体装置の電源を投入し、OS を起動します。
- (2) 次に『Power Console Plus』を起動させます。
- (3) ロジカルドライブ(パック)を選択します。
- (4) メニューバー『Logical Drv』『Change Config』『write』で『Write Back』を選択します。



### 1 - 3 . 復旧方法

『Write Back』設定にてインストールを実行しセットアップ処理が途中でストップしてしまった場合、再起動を行って EXPRESSBUILDER の起動画面(トップメニュー)が立ち上がるかどうか確認してください。

もし、起動画面が立ち上がらない場合は「CMOS クリア」を本体装置添付のユーザズガイドに従って実行してください。

EXPRESSBUILDER の起動画面が立ち上がりましたら装置を再起動し、「MegaRAID Configuration Utility」を立ち上げ、Management Menu「Configure」の「Clear Configuration」でロジカルドライブの Configuration をクリアしてください。Configuration がクリアされましたら、最初からインストール作業をやり直して下さい。

## 2 . Consistency Check の実行について

ディスクアレイシステムでは、ディスク装置において磁気低下や振動による損傷が発生した場合など、気付かないうちに RAID に不整合が生じ、運用中や故障したディスクの交換時にエラーが発生することがあります。

本ディスクアレイコントローラでは、「Consistency Check」を行うことにより、これらのエラーを未然に防止することができます。システム構築時・運用開始後、アレイ管理ユーティリティ「Power Console Plus」にて定期的に「Consistency Check」を実行するようにスケジュールを設定してください。

また、新規にディスクアレイシステムをコンフィグレーションした場合も、「Mega RAID Configuration Utility」にて「Consistency Check」を実行するようにしてください。

「Power Console Plus」や「Mega RAID Configuration Utility」の使い方は、ユーザズガイド等を参照してください。

## 3 . 関連ソフトウェアについて

本製品に関連ソフトウェア(ドライバ、Power Console Plus、ESMPRO/ServerAgent)は、添付されておりません。本体装置に添付されている EXPRESSBUILDER を使用して、関連ソフトウェアのインストールを実施してください。

なお、下記の本体装置をご使用の場合、インターネットダウンロードサイト「8 番街」から関連ソフトウェアを入手して、インストールを実施してください。

| モデル名  | 型名                          |
|-------|-----------------------------|
| 110Ee | N8100-691                   |
| 110Ef | N8100-807, -808             |
| 120Ee | N8100-692, -696, -699, -839 |

### インターネットサイト「8 番街」ダウンロードページ

<http://nec8.com/dload/main-dl2.html>

その他

アレイコントローラ/SCSI コントローラサポート情報

なお、ダウンロードを行う際に必要な製造番号は、以下に記載されています。

1. 本製品の保証書
2. ボード裏面貼付のバーコードラベル(N8103-73A に続く数字)。

本件に関するご質問については、下記連絡先までお問い合わせください。

**ファーストコンタクトセンター** 電話番号： 03-3455-5800

時間:9:00～12:00、13:00～17:00 月～金(祝日を除く)